

## ご あ い さ つ



平成29年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたび、多くの市民の皆様のご支援をいただき、栃木市長の重責を担わせていただくことになりました。

平成22年3月に新生栃木市が誕生してから8年、また、1市5町が一緒になってから4年が経過いたしました。新しく大きくなった栃木市には、誇れるものがたくさんあります。それらを効果的に活用しながら、更に魅力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

さて、この市政年報は、市政の概要を記録し、市政運営の成果として後世に残すとともに、市民の皆様との情報の共有を図るために作成しております。

平成29年度を振り返りますと、田舎暮らし専門誌の「住みたい田舎ベストランキング」において、本市は「若者世代部門」で2年連続全国第1位、「総合部門」でも全国第3位を獲得しました。これは、本市の子育て世代に対する取り組みや各種移住・定住施策が実を結んだものであると考えております。

また、計画から完成まで約20年を費やした「千塚産業団地」の分譲を開始いたしました。販売状況も好調であり、これによって、新たな雇用の創出や地域経済の活性化が図られるものと期待しております。

平成30年度は、2022年度までの本市のビジョンを定めた総合計画後期基本計画の初年度となります。引き続き“自然”“歴史”“文化”が息づき“みんな”が笑顔のあったか栃木市をめざし、全力を注いでまいりますので、市議会をはじめ、市民の皆様のご理解と更なるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年8月

栃木市長 大川 秀子